

科目名	国内インターンシップ I	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学部	□ 必修	■ 選択
			総合政策学部	□ 必修	■ 選択
英文表記	Domestic Internship I	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 □ 後期 ■ 通年 ■ 集中		
ふりがな	くにい のりお よこた けいざぶろう	実務家教員担当科目	○	修得単位	2 単位
担当者名	國井 法夫 (経済)・横田 恵三郎 (総合政策)	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	アルバイトとは異なる就労体験を通して、仕事をするこの意義や自己の職業適性についてじっくり考える機会となる。さらに社会人、企業人のビジネスマナーを学修することにより、将来、社会で活躍できるバランスの取れた人間性を培うことが出来る。				
到達目標	今回のインターンシップを踏まえて、自己の職業適性について一定程度の方向性を得ることが出来る。				
授業概要	当該授業は事前指導・受け入れ先での実習・事後指導・報告会・試験で構成されている。今回の経験により将来の自己のキャリア・プランをある幅の中でも描くことが出来ることを目指す。接客の 5 原則やビジネスマナー、e メールについては基礎からしっかり学修する。実習中は毎日を振り返り、必ず日報として記録に残した上で、事後授業の振り返りの材料とする。				
授業計画					
第 1 回	事前指導①	・ガイダンス ・今回の目的意識 ・自分への 10 の約束	第 5 回	事後指導①	・インターンシップの振り返り 1
第 2 回	事前指導②	・整容 ・ビジネスマナー1 ・挨拶状、挨拶メール 1	第 6 回	事後指導②	・インターンシップの振り返り 2 合同報告会①
第 3 回	事前指導③	・ビジネスマナー2 ・挨拶状、挨拶メール 2 ・ケース・スタディー	第 7 回	合同報告会②	
第 4 回	事前指導④	・外部講師によるビジネスマナーの実践演習	第 8 回	合同報告会③	
	実習	(5 日間以上)	第 9 回	試験	
授業時間外の学習	新聞、雑誌、テレビ等を通じて興味をもっている業界について下調べをすること (1.0 時間程度)				
履修条件 受講のルール	<ol style="list-style-type: none"> この授業では、企業等に少なくとも 5 日間、インターンシップ実習を行います。実習中はどのような理由があっても欠席することはできません。事前指導、実習中、事後指導、報告会など原則としてすべてスーツ着用です。遅刻、無断欠席は、履修登録を取り消したものとみなします。 実習期間が 4 日以下の企業等の場合は、この授業を履修することはできません。 この科目は 2 年次対象です。3 年次の学生をはじめ、他学年の学生は、履修登録しないで下さい。インターンシップⅡを同一年度内に履修することはできません。 実習後の報告会では、各自 7 分程度で成果を報告してもらいます。パワーポイントを利用した報告を推奨します。 身だしなみをきちんと整える意思がない人は実習先に派遣することは出来ません。またアルバイトとは性格を異にするので目的意識をもって臨んでください。 受け入れ先との関係から必ずしも興味・関心のある業界・企業での実習が出来るとは限りません。 事前指導の授業に全て出席した者だけが実習に参加することが出来ます。また第 1 回の授業に欠席した学生は、以後の受講を許可しません。 				
テキスト	特に定めない。				
参考文献・資料	適宜、授業の中で配付する。				
成績評価の方法	試験 20%、報告書・報告会での内容 30%、実習受け入れ先企業の評価 50%				

	※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	各学部の担当教員に直接尋ねること。
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験を活かした授業内容	航空会社での実務家時代(横田)にインターンシップを受け入れた経験があるので企業側の考え方を説明し学生の理解とやる気を促したい。
学生へのメッセージ	自己の職業適性がどこにあるのか探るために積極的に履修して下さい。